

2ch 負荷試験用 データ記録装置

(スピーカーテスト用レコーダー)

MODEL ODR-641

仕様書

(株) オンソク 2018/10/10

1. 概要

本器は2チャンネルの負荷試験用データ記録装置（データロガー）です。

負荷試験時にスピーカーなどに入力された音声信号の電圧、電流、電力、ボイスコイル温度音声信号を最大100時間記録します。

記録したデータ全体の実効値、ピーク値の表示、音声信号を波形と同期しながら再生できます。

記録データは保存し、後日読み出して音声確認、記録データの分析に利用できます。

また、記録データ全体をCSV出力、画面表示をJPEGフォーマットで保存できます。

コントロール、設定、表示はすべてパソコンで行います。

2. 性能

記録時間 : 1秒ごとに最大100時間（1秒／10秒／1分／1時間のうち選択）

記録スピーカー数 : 2個

電圧レンジ : 30Vpeak 分解能1mV

電流レンジ : 10Apeak 分解能1mA

ボイスコイル測定温度範囲 : -40℃～400℃

測定時周囲温度 : -40℃～100℃

適合スピーカー直流抵抗 : 1.5Ω～40Ω（20℃にて）

適合ボイスコイル線材 : 銅、アルミ又は、銅アルミ混合線

信号源 : ノイズ、ミュージック、正弦波で周波数帯域20Hz～20kHz

ピーク値でパワーアンプがクリップしないこと。

記録値 : 実効値（電圧、電流、電力）、ピーク値（電圧、電流、電力）とボイスコイル温度

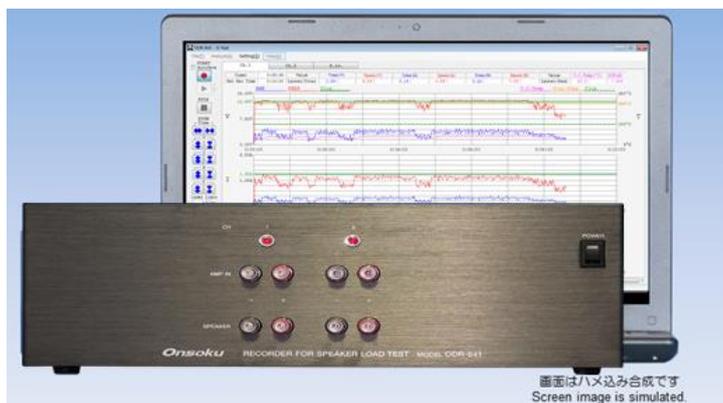
サンプリング周波数 : 48kHz

量子化ビット数 : 16bit

スタート/ストップコントロール : キー操作と外部リモート信号にて行う

その他 : BTLアンプも使用できます。

3. システム構成



- コントロールユニット
- コントロールノートパソコン
(アプリケーションソフトインストール済み)

4. 表示内容

- 電流計、電圧計、電力計、温度計表示
(1秒あたりの実効値とピーク値、電流、電圧、電力)とボイスコイル温度
- 表示スパンは、測定後設定可能

5. 記録データ分析

- ドラッグ&ドロップで指定した領域の実効値、ピーク値を表示
- 任意の電圧・電流・音圧条件で検索、並べ替え、その時間に頭出しができます。
- 任意の時間にブックマーク(タグ付け)とコメントを保存し、頭出しができます。

6. ファイル出力

- 独自フォーマットにて保存/読み出し
- タイムスタンプ、チャンネルごとの実効値電圧、電流、電力値、ピーク電圧、電流、電力値をCSV出力
- 画面表示をJPEG出力

7. 寸法、質量 350 (W) × 100 (H) × 250 (D) 突起物含まず
約5kg

8. 電源 100、120、200、220、240V 内部切り替え 出荷時指定
50/60Hz 約50W

9. 使用温湿度範囲 5°C~35°C 20%~90% ただし結露しないこと

10. オプション品

*騒音量記録ユニット AP-1638

このユニットを追加するとJIS C 1509に準拠した騒音量も同時に記録します。

*専用ビューアーソフト

ODR-641 コントロールユニットが無い環境で記録したファイルを開き、波形と同期再生、周波数分析、各種分析が行える専用ソフトウェアです。

※改良のため仕様を多少変更することがあります※